

加齢による 認知機能の変化と 認知症



【講師】 聖路加国際病院

脳神経内科 部長

認知症疾患医療センター センター長

木村 哲也 氏

日時

令和4年

11月26日(土)

(1回目) 午後2時00分～3時00分

(2回目) 午後3時30分～4時30分

*1回目、2回目の講演内容は同様です。

会場

中央区役所8階大会議室(中央区築地1-1-1)

(裏面に地図あり)

申込

令和4年10月3日(月)から11月11日(金)

まで電話、メール、FAXでお申込みください

(申込先は裏面参照)

※当日はマスク着用、事前体温測定、体調不良時は欠席にご協力ください。

参加費：無料

定員：各回 50名

※事前予約制(先着順)

※手話通訳あり

区内在住・在勤・在学者対象

▶ 申込先

中央区 福祉保健部 介護保険課 地域支援係

■電話 03-3546-5379

■メール zaitaku@city.chuo.lg.jp

(下記のFAX申込フォームと同じ項目について記載してください。)

■FAX 下記に必要事項をご記入のうえFAX

申込期間：

令和4年10月3日(月)~11月11日(金) (先着順)

アクセス：

■中央区コミュニティバス(江戸バス)
「中央区役所」 停留所下車0分

■東京メトロ有楽町線
「新富町駅」1番出口 徒歩1分

■東京メトロ日比谷線
「築地駅」3・4番出口 徒歩5分



FAXでお申込みの方は下記フォームに記入の上、送信してください✍

在宅療養に関わる講演会

加齢による認知機能の変化と認知症

令和4年11月26日(土) 1回目：午後2時00分~3時00分
2回目：午後3時30分~4時30分

	希望時間 (1回目または2回目)	氏名	住所 (在住以外は勤務先・学校名)	電話番号	該当するものに○印 を付けてください。
1					区民・在勤・在学
2					区民・在勤・在学

※参加申込みされる方で『加齢による認知機能の変化と認知症』に関する質問等があれば
11月11日(金)までに下記へご記入のうえ、お申し込みください。

こちらへ質問等ご記入ください。

FAX

FAX送信先：03-3543-0236
(あて先) 中央区福祉保健部 介護保険課 地域支援係 行

令和4年度 在宅療養支援研修(区民向けシンポジウム) アンケート結果 (※新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため「在宅療養に関わる講演会」)

1 講演概要

- 日時 : 令和4年11月26日(土) ①14:00~15:00 (於 中央区役所8階大会議室)
②15:30~16:30 (於 中央区役所8階大会議室)

- 演題及び講師 : 「加齢による認知機能の変化と認知症」

聖路加国際病院 脳神経内科部長・認知症疾患医療センター センター長 木村哲也 氏

- 参加者 : ①48名(事前申込者43名、関係者4名、当日参加者1名) (当日キャンセル17名)
②53名(事前申込者48名、関係者4名、当日参加者1名) (当日キャンセル12名)

2 アンケート結果

回収数(2回分) 87名 (回収率 86.1%)

2-1 回答者属性

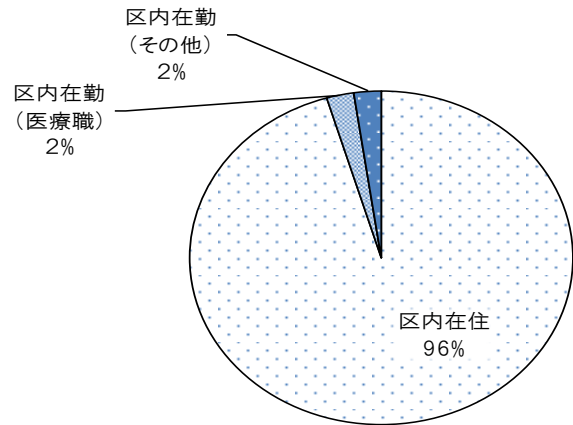
【在住・在勤等の状況】* (単位:人)

1. 区内在住	83	
2. 区内在学	0	
3. 区内在勤	4	
内訳	a. 医療職	2
	b. 介護職	0
	c. その他	2
	d. 無記入	0

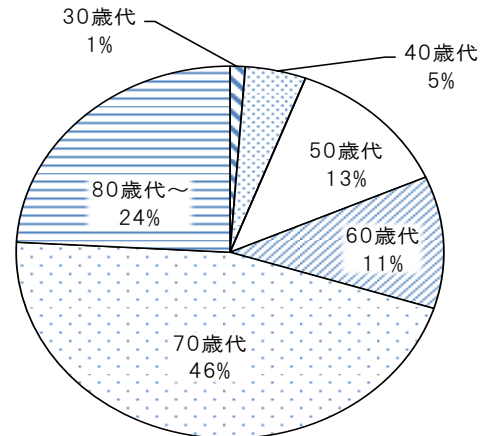
【参加者の年齢】* (単位:人)

1. 30歳代	1
2. 40歳代	4
3. 50歳代	11
4. 60歳代	10
5. 70歳代	40
6. 80歳代~	21

在住・在勤等の状況

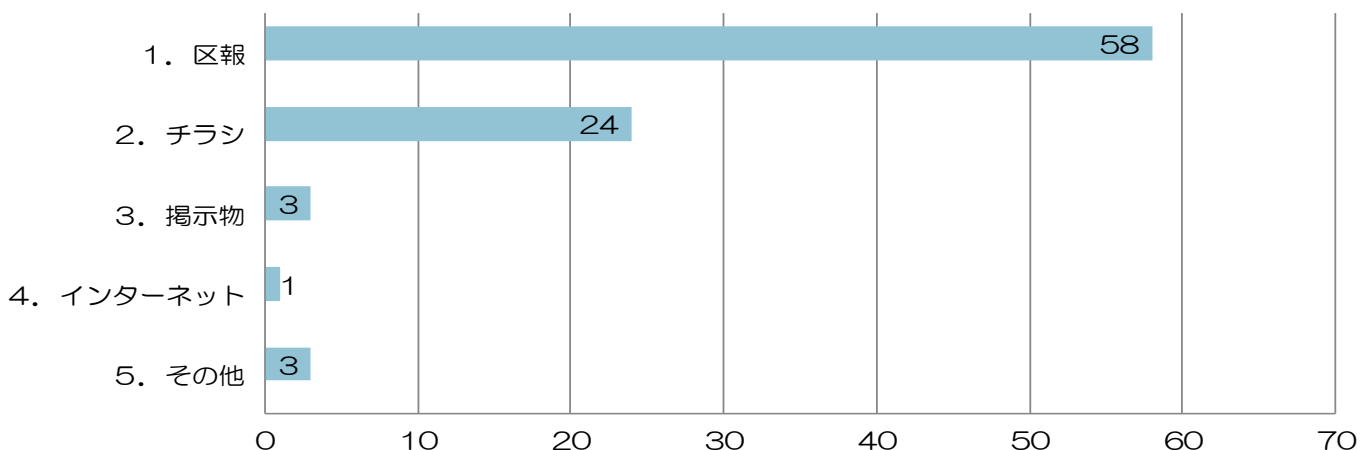


参加者の年齢



問1 この講演会をどちらで知りましたか。(複数回答あり)

(単位:人)

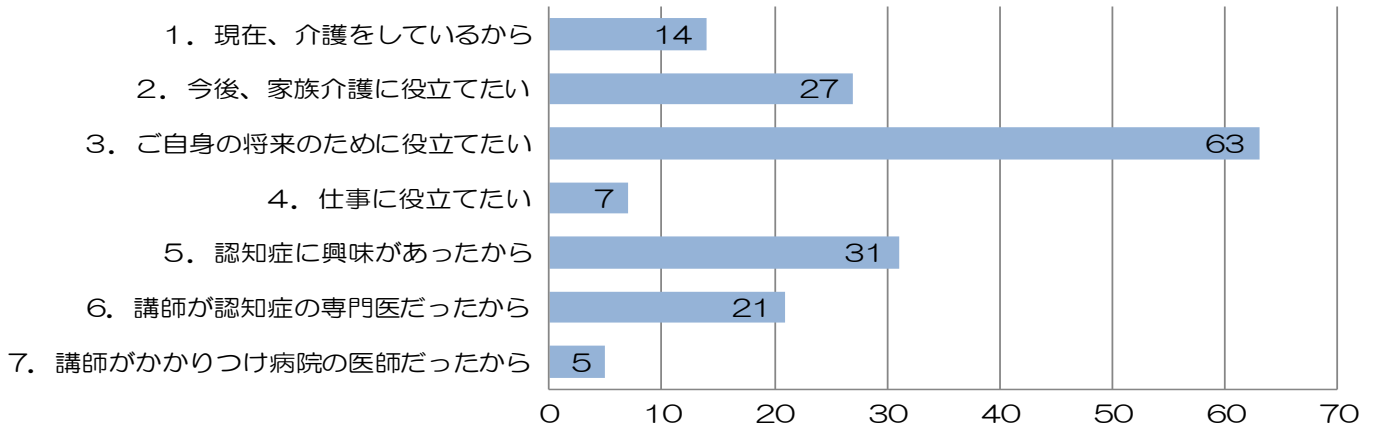


【5. その他の回答】

- ・敬老大会(2)、歯科医師会報誌

問2 このシンポジウムに参加しようと思ったきっかけを教えてください。(複数回答あり)

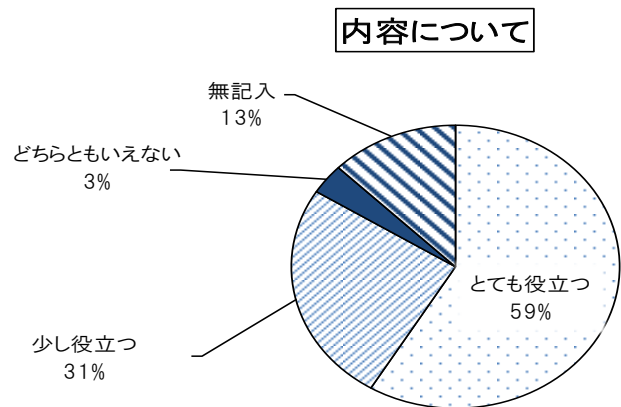
(単位：人)



問3 本日の講演会の内容はいかがでしたか？

(単位：人)

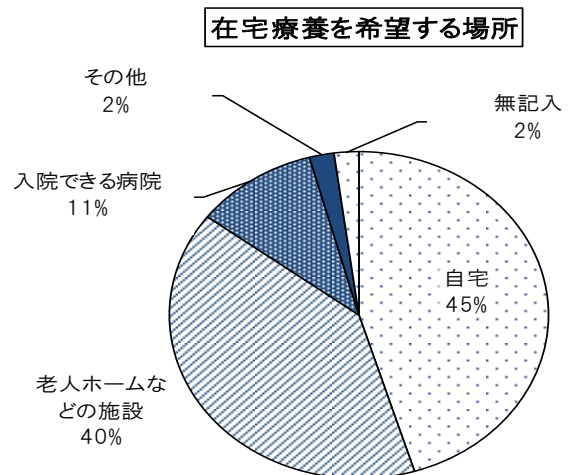
1. とても役立つ	51
2. 少し役立つ	22
3. どちらともいえない	3
4. あまり役立たない	0
5. 無記入	11



問4 ①もし、ご自身に在宅療養が必要になった場合のお考えを教えてください。(複数回答あり)

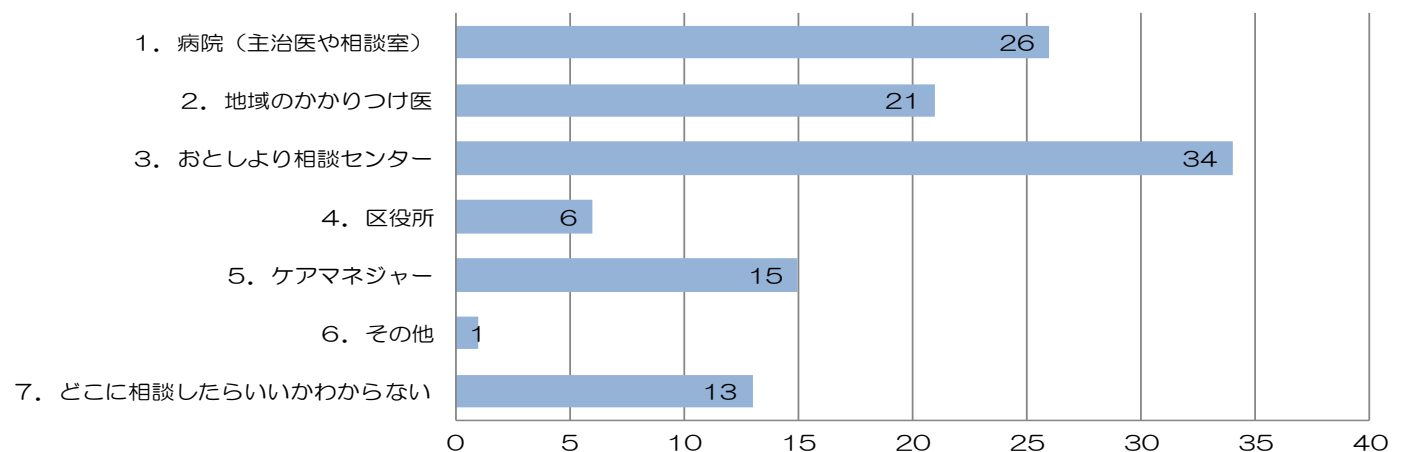
(単位：人)

1. 自宅	43
2. 老人ホームなどの施設	38
3. 入院できる病院	10
4. その他	2
5. 無記入	2



②在宅療養について、どこに相談しますか？(複数回答あり)

(単位：人)

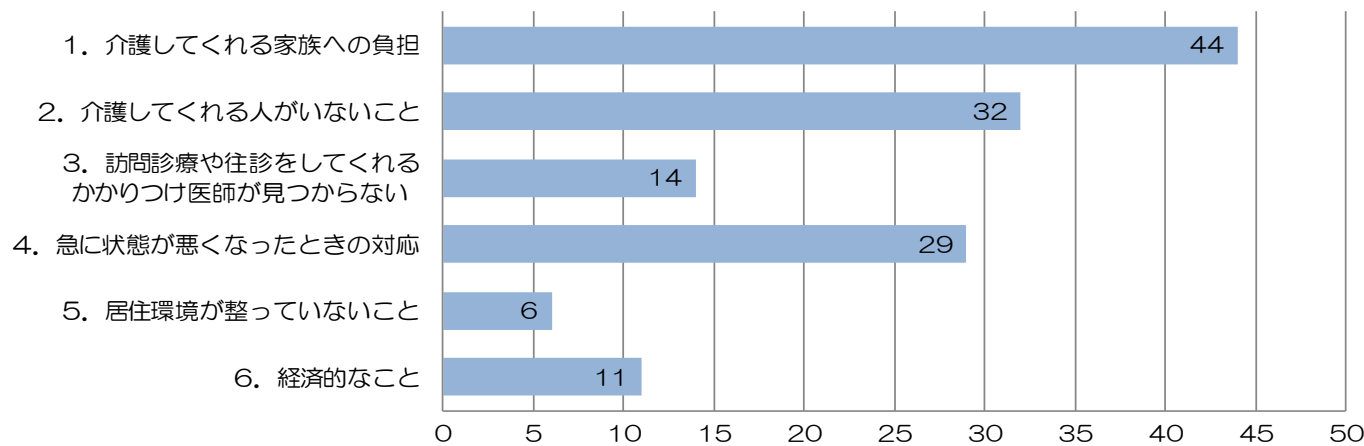


【6. その他の回答】

・家族

③在宅療養について、ご自身はどんなことに不安がありますか？（複数回答あり）

（単位：人）



問5. 感想や要望（自由記載）

【感想】

- ・ 参考になった。将来に役立つものであった。（12）
- ・ 木村先生のお話はとても分かりやすかった。（8）
- ・ 何か問題が起きたときには先生を頼りたいと思いました。
- ・ 最後に「老年期を楽しんでください」の言葉に明るい希望を持ってました。（2）
- ・ 木村先生のやさしい人柄で、とても良いお話でした。認知症のことがよく分かりましたし、対応も分かりました。
- ・ 認知症の家族を介護した経験から早く学びたかったと思いました。とても有意義でした。
- ・ またこういう機会があったら是非参加したい。（4）
- ・ 認知症の遺伝性が少ないことでほっとしました。
- ・ 講演会資料の配布、ありがとうございました。
- ・ 独身、一人暮らしのため将来への不安があるので、今後いろいろなテーマを受講したい。
- ・ 少し不安が減りました。
- ・ 認知症について再度、勉強していきたい。
- ・ 「認知症にならないための十カ条」を心にとめ、生活をしていきたいです。
- ・ プチ介護をはじめ色々辛いこともありましたが、攻撃されるのは信頼されているという言葉にほっとしました。
- ・ 加齢による認知機能の低下や認知症があっても明るく生きていけるような社会資源になりたいと思った。
- ・ 今回の講演で加齢による物忘れの可能性の方が高いと分かり安心すると共に、今後今回お聞きした内容のことが両親におこった場合の対応が分かり大変勉強になりました。
- ・ 認知症についてのお話自体を初めて拝聴いたしました。故に全てが大変勉強になりました。
- ・ 先生のお話は、認知症に対する悲観的な考えから、楽しく認知症と対応する術を勉強させていただきました。
- ・ 45歳くらいまでは3桁×2桁の掛算を暗算でできたが、以後苦手になり悲しく思っていた。皆そうなのかと思って少し安心。しかし、これから他の機能も衰えていくと思うとやはり不安。できる限り、家で過ごせるようこれから方策を練りたい。また、判断力が残っているうちに施設に入ることも視野に入れたい。
- ・ チャレンジ出来ることに努力していこうと思いました。
- ・ ゆとりがなかった。1時間の内容が盛りだくさんで早口感じた。
- ・ 認知症が気になる年齢になってきましたので、色々話を聞いてよかったです。
- ・ 少しずつそんな様子の見えただ夫ですが、上手に付き合っていけるようなお話で参考になりました。

【要望】

- ・ 認知症にならない為にはどうしたらいいか、もう少し聞きたかった。
- ・ 認知症発症のメカニズムや、発生率の男女差など。
- ・ 介護するにあたってベッドから起こしたり、簡単な介護の方法も勉強したい。
- ・ もう少し老人に分かりやすい言い方でゆっくりと話してほしい。資料のプリントが小さい。

【その他】

- ・ 物が目の前から無くなると、相手かまわず盗人呼ばわりする。信頼のもとと言われますが、自分が当事者になった時は大変怖いです。メカニズムを研究していただけると幸いです。
- ・ 勤務者なので週末だとよい。（2）
- ・ 毎日の希望もない生活、それでも生きてる自分が悲しいです。極力誰の世話にもならず死ねたら幸福だと思います。
- ・ マスクをしないで咳をしている人がいた。マスクを渡すなど注意してほしい。